

平成16年 3月期 個別財務諸表の概要

平成16年 5月18日

上場会社名タキロン株式会社

上場取引所東大

コード番号 4215

本社所在都道府県 大 阪 府

(URL http://www.takiron.co.jp/

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 問合せ先責任者

役職 名 財務部長

氏 名 武 田

平成16年 5月18日 決算取締役会開催日

定時株主総会開催日 平成16年 6月29日

誠二 Æ 名 森下

T E L (06) 6267 - 2778

)

中間配当制度の有無

単元株制度採用の有無 有 (1単元 1,000株)

1. 16年 3月期の業績(平成15年 4月 1日~平成16年 3月31日)

(1)経営成績

	売	上	高	宫	業	利	益	経	常	利	益
		百万円	%		百万	円	%		百万	円	%
16年 3月期		49,622	3.6		2,0	24	74.7		2,0	06	84.8
15年 3月期		47,902	0.5		1,1	59	30.5		1,0	85	14.2

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 当期純利益	株 主 資 本当期純利益率		売 上 高 経常利益率
	百万円	% 円銭	円銭	%	%	%
16年 3月期	1,201 40	3.1 15.73	15.62	3.4	3.1	4.0
15年 3月期	238 12	4.5 3.11	-	0.7	1.7	2.3

⁽注)1.期中平均株式数

16年 3月期

74,128,451株

15年 3月期

76,848,086株

(2)配当状況

	1 株	当たり年間配	3 当 金	配当金総額	型坐垛占	株主資本
		中間	期末	(年間)	配当性向	配当率
	円 銭	円 銭	円銭	百万円	%	%
16年 3月期	7.00	3.50	3.50	513	42.8	1.5
15年 3月期	7.00	3.50	3.50	534	223.9	1.5

⁽注) 16年 3月期期末配当金の内訳 記念配当

円 - 銭

特別配当

円 - 銭

(3)財政状態

	総	資	産	株	主	資	本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
			百万円				百万円	%	円 銭
16年 3月期			66,654				35,317	53.0	481.70
15年 3月期			62,552				34,748	55.6	459.00

⁽注)1.期末発行済株式数 2. 期末自己株式数

16年 3月期 16年 3月期 78,698,816株 5,381,357株 15年 3月期 15年 3月期 78,698,816株 2,994,113株

2. 17年 3月期の業績予想 (平成16年 4月 1日~平成17年 3月31日)

Ξ.				> <	1 1-70 - 0 1 - 17	3 - 1 7					
				売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株	当たり	年間配	当金	
				70 12 13	WE 113 4.2 TH		中間	期	末		
				百万円		百万円	円 銭		円銭		円銭
	中	間	期	24,500	1,100	600	3.50		-		-
	通		期	51,400	2,500	1,400	-		3.50		7.00

^{2 .} 会計処理方法の変更 無 3 . 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

6 . 個 別 財 務 諸 表 等

(1)貸借対照表

(単位:百万円)

					(単位:百万円)
	当期(平成 1 6 年 3)	月31日現在)	前期(平成15年3月	月31日現在)	
科目	金額	金 額	構成比	金 額	比較増減
(資産の部)		%		%	
流動資産	38,936	58.4	33,471	53.5	5,465
現金・預金	6,418		3,874		2,543
受 取 手 形	11,124		10,413		7 1 0
売 掛 金	9,591		8,403		1,188
製品・商品	4,160		4,908		7 4 8
原 材 料	720		706		1 3
仕 掛 品	9 5 4		965		1 0
前 渡 金	4 0		4		3 6
前 払 費 用	105		1 3 5		3 0
短期貸付金	2,322		1,633		6 8 9
未 収 入 金	2,718		1,681		1,036
繰 延 税 金 資 産	954		906		4 7
その他の流動資産	5		3 2		2 6
貸 倒 引 当 金	180		195		1 5
固定資産	27,718	41.6	29,081	46.5	1,363
有 形 固 定 資 産	17,168	25.8	18,583	29.7	1,414
建物	5,767		6,122		3 5 4
構築物	1,074		1,183		1 0 8
機 械・装 置	4,991		5,603		6 1 2
車 両・運 搬 具	4 3		4 2		0
工 具 器 具・備 品	1,166		1,251		8 4
土 地	4,047		4,078		3 1
建設仮勘定	77		3 0 1		224
無形固定資産	450	0.7	3 5 1	0.6	9 8
その他の無形固定資産	450		3 5 1		9 8
投 資 等	10,098	15.1	10,145	16.2	4 6
投 資 有 価 証 券	2,963		2,523		4 4 0
子会社株式	1,845		1,555		290
出資金	211		222		1 1
長期貸付金	123		451		3 2 7
差入保証金	3 5 1		4 1 0		5 9
長期前払費用	4 3 7		2 5 1		186
繰 延 税 金 資 産	4,349		4,990		6 4 1
その他の投資	4 3 6		6 2 4		187
貸倒引当金	192		3 0 5		113
投資評価引当金	429		5 7 9		150
資 産 合 計	66,654	100.0		100.0	4,102

	当期(平成 1 6 年 3)	月3 1日現在)	前期(平成15年3月] 3 1 日現在)	
科目	金額	構成比	金額	構成比	比較増減
(負債の部)		%			
流動負債	18,435	27.7	16,696	26.7	1,738
支 払 手 形	3,809		3,961		1 5 1
量 掛 金	10,152		7,849		2,303
短期借入金	-		6 5 0		6 5 0
長期借入金	-		1		1
(1年以内返済)					
未 払 金	6 5 1		7 1 2		6 0
未 払 消 費 税	220		1 5 8		6 2
未 払 法 人 税 等	8 4 7		1 2 9		7 1 8
未 払 費 用	1,395		1,440		4 5
前 受 金	0		3		3
預り金	8 1 7		1,281		463
賞 与 引 当 金	5 2 6		5 0 7		1 9
その他流動負債	13		2		1 0
固定負債	12,902	19.3	11,106	17.7	1,795
長期借入金	1,500		4		1,495
退職給付引当金	10,727		10,782		5 4
役員退職引当金	247		3 1 9		7 1
その他固定負債	4 2 6		-		4 2 6
負 債 合 計	31,337	47.0	27,803	44.4	3,533
(資本の部)		%		%	
資 本 金	15,189	22.8	15,189	24.3	-
資本剰余金	14,661	22.0	14,661	23.4	-
資本準備金	14,661		14,661		-
利益剰余金	6,405	9.6	5,726	9.2	678
利 益 準 備 金	1,223		1,223		-
任 意 積 立 金	4,032		4,030		2
配当準備積立金	200		200		-
土地圧縮積立金	8 2		8 0		2
別 途 積 立 金	3,750		3,750		-
当期未処分利益	1,148		471		676
その他有価証券評価差額金	675	1.0	7 4	0.1	6 0 1
自己株式	1,614	2.4	901	1.4	712
資 本 合 計	35,317	53.0	34,748	55.6	5 6 8
負債及び資本合計	66,654	100.0	62,552	100.0	4,102

(2)損益計算書

(単位:百万円)

					(半位・日/1口)
	当	期	前	期	
	(平成15年4月1日~		(平成14年4月1日~1	5年3月31日	
科目	金 額	百分比	金 額	百分比	増 減 金 額
		%		%	
売 上 高	49,622	100.0	47,902	100.0	1,720
売 上 原 価	34,866	70.3	34,113	71.2	7 5 3
売 上 総 利 益	14,755	29.7	13,789	28.8	966
販 売 費・一般管理費	12,730	25.7	12,629	26.4	1 0 1
営 業 利 益	2,024	4 . 1	1,159	2.4	865
営業外収益	294		3 3 4		4 0
受取利息・配 当 金	8 0		9 5		1 4
雑 収 入	213		2 3 9		2 6
営業外費用	312		408		9 5
支 払 利 息	3 9		3 1		7
雑 支 出	273		376		102
経 常 利 益	2,006	4.0	1,085	2.3	9 2 0
特別利益	6 3 9		1,764		1,124
特別損失	378		1,957		1,579
税引前当期純利益	2,267	4 . 6	892	1.9	1,375
法人税・住民税及び事業税	880		170		7 1 0
法人税等調整額	186		483		296
当期 純 利 益	1,201	2.4	238	0.4	962
前期繰越利益	204		5 0 2		298
自己株式処分差損	0		-		0
中間配当額	256		269		1 2
当 期 未 処 分 利 益	1,148		471		676

(3) 利益処分案

(単位:百万円)

			(半位・日/117)
科目	当期	前期	増 減 金 額
当期未処分利益	1,148	471	676
計	1,148	471	676
これを次のとおり処分します。			
利 益 配 当 金	256	2 6 4	8
	(1株につき3円50銭)	(1株につき3円50銭)	
役 員 賞 与 金	3 5		3 5
(取締役)	(31)		
(監 査 役)	(3)		
土 地圧 縮 積 立金	-	2	2
計	2 9 1	267	2 4
次期繰越利益	8 5 6	2 0 4	6 5 1

(注)平成15年12月10日に256百万円(1株につき3円50銭)の中間配当を実施しました。

注記事項

(貸借対照表関係)

(其目以光代代判示)	() () ()	/ ** #n \
	(当期)	(前期)
	(百万円)	(百万円)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	55,643 有形固定資産の減価償却累計額	55,316
2.受取手形割引高	- 受取手形割引高	9 2 0
3. 保 証 債 務	850 保 証 債 務	702
(損益計算書関係)		
	(当 期)	(前 期)
	(百万円)	(百万円)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な項目	及び金額	
運 搬 費 ・ 倉 庫 料	3 , 1 8 6 運 搬 費 ・ 倉 庫 料	3,217
従 業 員 給 料	2,288 従業員給料	2,230
賞 与 引 当 金 繰 入 額	253 賞与引当金繰入額	234
退職給付費用	479 退職給付費用	6 1 5
研究開発費	989 研究開発費	9 5 1
2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる	研究開発費	
	989	9 5 1
3 特別利益の主な内訳	特別利益の主な内訳	
固 定 資 産 売 却 益	2 5 4 固定資産売却益	9
投 資 有 価 証 券 売 却 益	235 債務保証損失引当金取崩益	171
投資評価引当金戻入額	150 厚生年金基金代行部分返上益	1,583
特別損失の主な内訳	特別損失の主な内訳	
固 定 資 産 処 分 損	156 固定資産処分損	7 8
投資有価証券評価損	3 1 投資有価証券評価損	609
会 員 権 評 価 損	47 貸倒引当金繰入額	181
たな卸資産整理損	113 特別退職金	1,073
特 別 退 職 金	1 7	

(重要な会計方針)

イ. 資産の評価基準及び評価方法

● たな卸資産

製 品 : 総平均法による低価法 商 品 : 移動平均法による低価法 原 材 料 ・ 仕 掛 品 : 総平均法による原価法

● 有価証券(投資を含む)

子会社及び関連会社株式 : 移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの : 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処

理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの : 移動平均法による原価法

口.固定資産の減価償却の方法

有 形 固 定 資 産 : 定率法(但し、千歳工場は定額法)

: 但し、平成10年度の法人税法の改正に伴い平成10年4月1日以降に取

得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法

無形固定資産: 定額法

但し、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期

間(5年)に基づく定額法

長期前払費用: 定額法

八.引当金の計上の方法

貸 倒 引 当 金 : 売掛金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸

倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性

を検討し、回収不能見込額を計上しております。

投 資 評 価 引 当 金 : 投資先の投融資額を評価するため、投資先の資産状態及び事業内容の実情

を勘案して必要と認められる金額を計上しております。

賞 与 引 当 金 : 従業員の賞与の支給に充てるため、次期賞与支給見込額の当期間対応額を

計上しております。

退 職 給 付 引 当 金 : 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資

産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上

しております。

過去勤務債務については、発生年度において一括して費用から減額処理す

ることとしております。

また、数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(15年)による按分額を翌期より費用処理するこ

ととしております。

役員 退職 引当金 : 商法施行規則第43条の引当金で、役員の退職慰労金の支払いに備えるた

め、退職慰労金規定にもとづく期末要支給額を計上しております。

二.リース取りの処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

ホ.消費税の処理方法

税抜方式によっております。

リース取引

当社は、証券取引法第27条の30の6の規定に基づき電子開示手続きを行っているため記載を省略しております。

有価証券(子会社及び関連会社株式)

子会社及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

③ 税効果会計

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(当期)	(前 期)
(繰延稅金資産)	(百万円)	(百万円)
退職合付与引当金	3,978	3,741
子会社整理損	5 2 8	5 5 0
投資評配 当金	172	233
投資有価証券	382	7 2 4
その他	7 5 8	753
繰延税金資産合計	5,818	6,003
(繰延税金負債)		
その他有価証券評価差額金	458	5 0
土地圧縮積立金	5 6	5 6
繰延税金負債合計	5 1 4	106
繰延税金資産の純額	5,304	5,897

7.役員の異動

(平成16年6月29日付予定)

平成16年5月18日別途開示済みであります。